

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 都整-19 <input type="checkbox"/> 支援部門		交通環境整備事業				
主管課	交通政策課	関連課					
分野名	総合交通						
目標 (目標値)	公共交通の利便性の向上を図るとともに、パークアンドライドなどの利用促進を図る。						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	8,062	4,271	14,336			
	(国・県)						
	(負担金等)			9,870			
	(一般財源)	8,062	4,271	4,466			
	人員配置数	2.6	1.1	1.0			
	人件費(千円)	22,223	9,884	9,502			
事務事業運営経費	協働のパートナー	交通事業者 交通管理者	交通事業者 交通管理者	交通事業者 交通管理者			
	総事業費(千円)	30,285	14,155	23,838			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	市民1人当りの経費(円)	171	80	135			
	対象者1人当りの経費(円)						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
パークアンドライド、フリー環境手引の利用者数	◎	目標値	24,000	28,000	29,000	29,000	30,000
		実績値	27,331	23,703			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。			
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。			
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	
交通環境整備事業	8,062千円	①効率性 △	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒	□A □B ■C □D □E
	事業の概要	市内主要交差点の一般交通量及び渋滞状況調査を行った。パークアンドライド及び鎌倉フリー環境手形の利便性向上、システム利用促進を図った。バスベイ整備2ヶ所を行った。					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要						
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要						
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要						
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要						

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)						
H22年度の課題	パークアンドライド等の充実を図るため、新規の駐車場の確保。バス利用者の安全確保等のため、バスベイ整備工事を行う。					
課題解決のための取組	パークアンドライド等の利便性向上のため、案内看板の整備、システム利用促進のため情報誌掲載等のPRを行った。バス利用者の安全確保等のため2ヶ所のバスベイ整備を行った。					
未解決の課題	パークアンドライド等の利用者はここ数年増加傾向にあるが、このシステムのみでは抜本的な交通渋滞の解消につなげていない。					
今後の方針	新規の駐車場確保は、長期的な課題として取り組んでいく。今後もバスベイ整備を推進していく。					
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	B	※ □事業完了	課長名	交通政策課課長代理 宮崎 隆

